

令和5年度 学校評価（後期）結果報告

八幡浜市立江戸岡小学校

1 令和5年度後期自己評価結果の報告

(1) 学校の教育目標・児童像・学校生活について

教育目標や合言葉「げんきな声 ながれる汗 かがやく笑顔」を意識した教育活動を進めることができた。児童に意識付けてきたことを次年度の教育活動につなげ、継続して夢に向かって行動する子の育成に務めたい。前期に比べ、学校があまり楽しくないと回答している児童が増加したため、教育相談の機会を確保し、現在の児童の様子や気持ちを再度確認した上で、不安や悩みの解消に努めていく。

(2) 学習指導について

年間を通じて、全校体制で基礎・基本の定着に取り組んだ。校内研修を通して、授業展開や発問を工夫したり、一人一人の学習が生きる場面を設定したりすることで、教職員の指導力向上に努めた。効果的な学習の進め方や少人数指導の充実を図り、十分に機能している。一人一台端末の積極的な活用も推進することができた。学習につまずきのある児童がいるため、一人一人の学習状況や内容の定着度を把握し、全体指導と個別指導をバランスよく行って理解を深められるようにしていく。また、家庭学習の内容を工夫し、家庭と連携してそれぞれの児童の取り組み方を把握し、学習習慣の定着に努める。

(3) 生徒指導・人権・同和教育について

児童の様子や出欠状況を全教職員で共有し、家庭と連携していじめや不登校の未然防止に努めた。今後も教職員間で常に情報を共有し合い、家庭や関係諸機関との連携を図って早期の対応に努めていく。児童がきまりやルールを守れていない事例がいくつかあったが、早期の対応や指導を行うことができた。今後も、児童の様子を見守りながら指導を継続していく。挨拶や言葉遣いに課題があるため、それぞれの場面で指導や意識付けを図り改善を図りたい。今年度はいじめを認知していないが、人間関係で不安を抱えている児童の存在が見受けられる。また、学校に来づらい児童もいるため、一人一人の児童に寄り添いながら、家庭や関係機関とも連携して対応していく。

2 今後の重点項目対策

(1) 目標に向かって主体的に行動する児童を育てる

- 学ぶ楽しさを実感できる、分かる授業作りに努める。
- 自己肯定感を高めるとともに、互いに認め合える集団をつくる。
- 集団への所属意識を高め、互いを支え合える学校・学級経営に努める。

(2) 規則正しい生活習慣を確立する

- ゲームやネット等の活用状況を把握し、改善する。
- 気持ちのよい挨拶を交わせる児童を育成する。
- その場に合った言葉遣い、相手を思いやる言葉遣いができる児童を育成する。
- 個々の実情を把握し、適切な家庭学習ができるよう工夫する。